

=(第1号様式)=

様式第二号の八（第八条の四の五関係）（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 5 月 1 日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 奈良県五條市三在町1421番地	
氏 名 五條生コン株式会社 榮林裕記	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0747-24-2525	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	五條生コン株式会社
事業場の所在地	奈良県五條市三在町1421番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	F22-229 その他の窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	生コンクリート出荷数量 20800m ³ 生コンクリート出荷額 49000万円
③ 従業員数	19名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	生コンクリート戻りコン→洗浄→①スラッジ水②回収骨材に分離 ①スラッジ水→脱水→③上澄水④スラッジ固形分に分離→③は再資源化 ②回収骨材→トロンメル・クラッシュファイア→細粗骨材に分離→再資源化 ④スラッジ固形分→硬化後固形物→再生処理業者へ委託→再資源化 ⑤生コンクリート戻りコン→コンクリートブロック作成→再資源化 ⑥上記⑤の型枠に収まりきらないもの→硬化後固形物→再生処理業者へ委託→再資源化

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物処理統括者(代表取締役)

↓

産業廃棄物処理管理者(工場長・品質管理責任者)

↓

コンクリートブロック製造・骨材分級処理・コンクリートブロック製造・処理水分級処理
(工場長・製造課長及び各担当者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	1623.56 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	1500 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
①現状	産廃となる戻りコンを少なくする為、施工現場での生コン注文を必要以上に発注しないように要請。(現場内での利用を促進する為、戻りコン持ち帰りは有償化)戻りコンの有償物利用を促進するため、積ブロック用型枠数を増加。(有償化物としての利用促進)		
②計画	上記取り組みの周知徹底。最終車両等の過剰追加注文の減少要請。戻りコンの有償物利用を促進するため、積ブロック用型枠数を増の検討。(有償化物としての利用促進)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	戻りコン再利用による大型ブロックへの再資源化(有償物)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	戻りコン再利用による大型ブロックへの再資源化(有償物)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1623.56 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1623.56 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
産廃となる戻りコンを少なくする為、施工現場での生コン注文を必要以上に発注しないように要請。(現場内での利用を促進する為、戻りコン持ち帰りは有償化)戻りコンの有償物利用を促進するため、積ブロック用型枠数を増加。(有償化物としての利用促進)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	1500 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1500 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	上記取り組みの周知徹底。 最終車両等の過剰追加注文を減少させる。 大型ブロック用型枠の増設の検討。(有償化物としての利用促進)		
	※事務処理欄		